WX03A

クイックスタートガイド

STRAP PHONE

はじめに

このたびは「ストラップフォン　WX03A」をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

ご使用の前に必ず本書をお読みになり、正しくお取り扱いください。

また、本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

ご注意

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の画面表記は一例です。実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどにお気づきの場合はご連絡ください。

※本書では、「ストラップフォン　WX03A」を「本機」と表現させていただいております。あらかじめご了承ください。

本書ではメニューの項目選択や機能の呼び出し操作を以下のように表記して説明しています。

■ 操作手順の記載例と実際の操作

(例 1)

① 待受画面でセンターキー を押します。

② カーソルキー で「マナーモード」にハイライト表示を移動して を押すか、またはダイヤルキー 5 を押します。

③ カーソルキー で「マナーモード選択」にハイライト表示を移動して を押すか、またはダイヤルキー 1 を押します。

④ カーソルキー で「 」内の項目にハイライト表示を移動して を押すか、またはダイヤルキー 1〜3 のいずれかを押して選択します。

(例 2)

待受画面
► ▀◎▔ [電話帳] → ①
► ▔◎▀ → ②
► 7 グループ設定 → ③
► ◻:グループを選択 → ④
► ◙ → ⑤
► 1 設定/解除 → ⑥
► 1 「OFF」または 2 「ON」 → ⑦

① 待受画面で左ファンクションキー ▀◎▔ を押します。

② 右ファンクションキー ▔◎▀ を押します。

③ カーソルキー ◻ で「グループ設定」にハイライト表示を移動して ◙ を押すか、またはダイヤルキー 7 を押します。

④ カーソルキー ◻ でいずれかの項目にハイライト表示を移動します。

⑤ センターキー ◙ を押します。

⑥ カーソルキー ◻ で「設定/解除」にハイライト表示を移動して ◙ を押すか、またはダイヤルキー 1 を押します。

⑦ カーソルキー ◻ で「 」内の項目にハイライト表示を移動して ◙ を押すか、またはダイヤルキー 1 または 2 のいずれかを押して選択します。

※ 目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。

はじめに

操作説明について

お使いになる前に

電話

文字入力

ライトメール

付録

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容です。

次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	説明
禁　止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
強　制	強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、AC アダプタ共通

⚠危険

強　制	必ず専用の周辺機器をご使用ください。 専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。 周辺機器：AC アダプタ
禁　止	火や暖房器具のそばなど、高温になる場所で使用・放置しないでください。 また、水に濡れた場合でも電子レンジなどの加熱用機器で乾燥させないでください。 発熱・破裂・発火・故障の原因になります。
分解禁止	分解・改造・修理しないでください。 発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。
水濡れ禁止 ぬれ手禁止	水、汗、海水などの液体で濡らさないでください。また水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、濡れた手での使用はしないでください。 電子回路のショートにより発熱・感電・火災・故障の原因となります。万一液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

禁止	通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。 感電・けがの原因となります。
禁止	導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を **USB** 接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。 発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
強制	使用中に発煙・異臭などの異常が発生したときには直ちに使用を中止してください。異常が発生した場合は電源を切り、**AC** アダプタのプラグを抜いて下さい。 発熱・破裂・発火・故障の原因になります。
強制	所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめて下さい。 内蔵バッテリの液漏れ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンター、エイビットサポートセンターまでご連絡ください。
強制	水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合はそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、エイビットサポートセンターまでご連絡ください。

⚠注意

 禁 止	**直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないでください。** 故障・発熱・発火の原因になります。
 禁 止	**引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。** ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。
 禁 止	**高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。** 破裂・発火・火災・発熱・故障の原因となります。
 禁 止	**乳幼児の手の届く場所に置かないでください。** けがなどの原因となります。
禁 止	**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。** 落下、破損、けがの原因となります。
 禁 止	**外部から電源が供給されている状態の本機、ACアダプタに長時間触れないでください。** 低温やけどの原因になります。

■ 本体について

⚠危険

禁　止	落下により破損し、本機内部が露出した場合、露出部分に手を触れないでください。 感電・破損・けがの原因となります。
禁　止	クギをさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。 破裂・発火・破損・発熱の原因となります。
強　制	心臓の弱い方は音量の大きさの設定に注意してください。 心臓に影響を与える可能性があります。
強　制	内蔵バッテリ内部の液体などが目に入った場合は、こすらずすぐにきれいな水で十分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けて下さい。 放置すると失明するおそれがあります。

⚠警告

 禁　止	**自動車・バイク・自転車などの運転中には使用しないでください。** 交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中の PHS の使用は危険なため法律で禁止されています。また自転車運転中の使用も法律等で罰せられる場合があります。
 禁　止	**赤外線ポートを目に向けて赤外線通信を行わないでください。** 目に影響を与える可能性があります。
 強　制	**航空機内などの使用を禁止された場所では本機の電源をお切りください。** 電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。
強　制	**屋外で雷鳴が聞こえた場合には、直ちに本機の使用を中止してください。** 落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は使用を中止し、直ちに屋内などの安全な場所に避難してください。

強　制	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くで本機を使用される場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与える恐れがあるため、次のことを守ってください。 ❶ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本機を心臓ペースメーカーなどの装着部から 22cm 以上離して使用してください。 ❷ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性がありますので、本機の電源を切ってください。 ❸ 医療機関の屋内では以下のことに注意してください。 ❹ 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 ■ 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本機を持ち込まないでください。 ■ 病棟内では本機の電源を切ってください。 ■ ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本機の電源を切ってください。 ■ 医療機関が個々に使用禁止、持込禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

<table>
<tr><td></td><td>高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。
電子機器に影響を与える場合があります。
<影響を与えるおそれがある機器の例>
• 心臓ペースメーカー、補聴器、その他の医用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。
• 医用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について機器メーカーまたは販売者にご確認ください。</td></tr>
<tr><td></td><td>内蔵バッテリが漏液したり異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また、万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、破裂･発火の原因となります。</td></tr>
<tr><td></td><td>内蔵バッテリの液体などが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流して下さい。
皮膚がかぶれたりする原因となります。</td></tr>
</table>

⚠注意

禁止	**キャッシュカードなどの磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけないでください。** 磁気データ消失の原因となります。
禁止	**赤外線通信でデータを送信するときに、赤外線ポートを他の赤外線装置に向けないでください。** 赤外線装置が誤動作するなどの影響をあたえることがあります。
禁止	**一般のゴミと一緒に捨てないでください。** 不要になった本機はウィルコムサービスセンター･ウィルコムプラザなどにお持ちいただくか、電池の回収を行っている市町村の指示に従ってください。
強制	**自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。** 安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

■ AC アダプタについて

AC アダプタに添付されている取扱説明書をお読みください。

■免責事項について

- 本機は、その故障や誤動作が結果として人命に影響を与えるような用途、たとえば生命維持装置、航空宇宙機器、原子力設備や機器など極めて高い信頼性の要求される用途を意図して設計・製造されておりません。これらの装置、機器、設備などに本機を使用されて発生した人身事故、物的損害、社会的損害などに関して当社ではいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の消失など）に関して、当社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定の外部機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任をおきかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用上のご注意

- 本機に無理な力を加えないでください。
  無理な力が掛かるとディスプレイや内部の基板などが破損し、故障の原因となりますので、衣類のポケットに入れて座ったり、多くのものが詰まった荷物の中に入れたりしないようにご注意ください。外部に破損がなくても、保証の対象外となります。
- 極度な高温、低温、多湿は避けてください。
  周囲の温度５℃～３５℃、湿度３５％～８５％の範囲内で使用してください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 一般電話、テレビ、ラジオなどからなるべく離れて使用してください。
  一般電話、テレビ、ラジオなどを使っている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れて使用してください。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷つけないようにご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や湿度の高い場所で使用された場合、電話機内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。
  急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

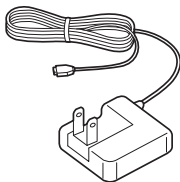
- 通話中の温度について
  通話中に温かくなることがありますが異常ではありません。
- 長時間の通話は避けてください。
  長時間の通話は聴力に悪い影響を与えます。
- 夏季の閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、内蔵バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
  故障や、製品性能に影響を与える場合があります。
- 腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。
  故障、内部データの消失の原因となります。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。
  ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用すると外装が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 動作確認済の USB ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
  <動作確認済>

ELECOM 製	MPA-AMBX シリーズ
Buffalo 製	BSMPC03U02BK/U12BK
Softbank SELECTION	SB-CA04-MUSB

  最新の動作確認状況については、エイビットサポートページをご覧ください。
  http://www.abit.co.jp/support/PHS/

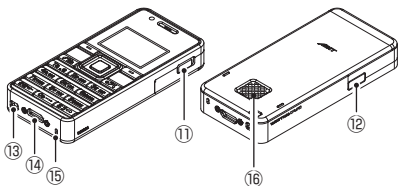
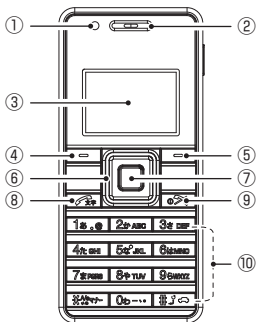
内容物・付属品の確認

●ストラップフォン (WX03A)

●ACアダプタ

●クイックスタートガイド(保証書)

各部の名称と機能

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
1あ .@
2か ABC
3さ DEF
4た GHI
5な JKL
6は MNO
7ま PQRS
8や TUV
9ら WXYZ
0わ

⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

① ランプ

・電話着信中や不在着信があるときに点滅
・ライトメール受信中や新着メールがあるときに点滅
・充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると消灯

② 受話口(レシーバー)

③ ディスプレイ (p. 24)

④ 左ファンクションキー

・ソフトキーとして画面左下に表示される機能を実行

⑤ 右ファンクションキー

・ソフトキーとして画面右下に表示される機能を実行

⑥ カーソルキー

・画面上のカーソルを上/下/左/右方向に移動
・:発信履歴を表示(待受画面)
・:着信履歴を表示(待受画面)

⑦ センターキー

・メインメニューを表示(待受画面)(p. 31)
・各機能を設定/登録
・選択した項目を確定
・ソフトキーとして画面中央下に表示される機能を実行

⑧ **発信・通話キー** [発信]
- ・電話をかける／受ける (p. 39, p. 42)
- ・文字入力時の文字入力モード切替 (p. 44)

⑨ **電源・終話キー** [終話]
- ・電源を入れる／切る（3 秒以上）(p. 30)
- ・電話を切る (p. 39, p. 42)
- ・機能を終了
- ・待受画面に戻る

⑩ **ダイヤルキー** 0〜9 * #
- ・電話番号や文字、数字を入力
- ・*：マナーモードを設定／解除（待受画面、3 秒以上）
- ・#：安全運転モードを設定／解除（待受画面、3 秒以上）

⑪ **キーロックスイッチ**

⑫ **赤外線ポート**

⑬ **ハンドストラップ取付穴**

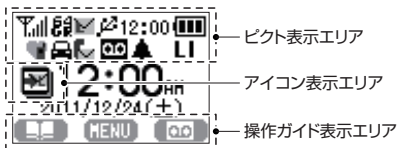
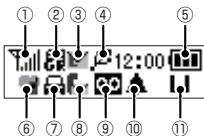
⑭ **USB 端子接続部**
- ・充電時に AC アダプタまたは USB ケーブルを接続 (p. 29)
- ・USB ケーブルで PC と接続
- ・イヤフォン変換アダプタを接続

⑮ **送話口（マイク）**

⑯ **スピーカー**

※ 本書では、キーの表記を上のように簡略化しています。あらかじめご了承ください。

ディスプレイ

■ ディスプレイ表示エリア

■ ピクト表示

※説明のためすべて表示しています。
（実際の表示とは異なります）

ピクト	ピクトの内容	
①	電波受信レベルの表示	
	微弱 ←――――――――――→ 強	
	圏外	圏外
② PT	通信方式の表示	
	PT	パケット方式
	FC	フレックスチェンジ方式
		32KPIAFS
		64KPIAFS(ギャランティ型)
		64KPIAFS(ベストエフォート型)
③	未読ライトメールあり	

④	USB 接続中
⑤	電池残量の表示
	要充電 ←――――――――→ 十分
	充電中
⑥	マナーモード設定中
	マナーモード
	サイレントモード
	ユーザ設定マナーモード
⑦	安全運転モード設定中
⑧	センター留守電あり
⑨	新規留守録あり

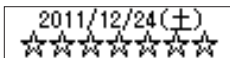
⑩ ▲	アラーム設定中
⑪ LI	自動位置情報送出設定中

■ アイコン表示

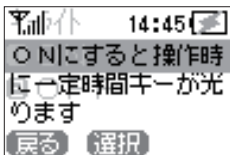
アイコン	アイコンの内容
	不在着信あり
	新着ライトメール受信あり

■ 操作ガイド表示エリア

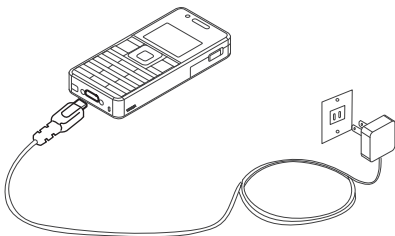
操作ガイド表示エリアには、左右ファンクションキーまたはセンターキーで選択／実行される機能が表示されます。

2011/12/24(土)
☆☆☆☆☆☆☆

リモートロックが設定されている時は、図のように操作ガイド表示エリアに☆が表示され、左右ファンクションキーまたはセンターキーを使用する事はできません。

■ ガイドスクリーン表示

14:45
ONにすると操作時
に一定時間キーが光
ります
戻る　選択

一定時間無操作状態が続くと、ガイドスクリーンが画面にオーバーラップ表示されます。
設定により ON/OFF 及び表示時間の変更が可能です。

充電する

■ AC アダプタを使って充電する

AC アダプタのコネクタを刻印面を上にして本機の USB 端子接続部に接続する

► AC アダプタのプラグを起こしコンセントに差し込む

充電中はランプが赤く点灯し、液晶画面の電池アイコンが充電中のアイコンに切り替わります。充電が完了するとランプは消灯します。

► 充電が終わったら AC アダプタのコネクタを USB 端子から引き抜く

► AC アダプタのプラグをコンセントから抜く

■ USB ケーブルで充電する

USB ケーブルを使って PC と接続することで充電する事が可能です。

その場合、PC 側の USB ポートの電流出力が 500mA 以上であることを確認してください。

ご注意

動作確認済 USB ケーブル(p. 19)以外を使用すると故障の原因になります。ご注意ください。

■ 電池残量の確認

ピクト表示エリアの電池アイコンに電池残量が表示されます。

ご注意

本機は電池を取り外すことができません。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

[電源キー] を 3 秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示された後に待受画面が表示されます。

サービスエリア内にいる場合は電波受信レベルがピクト表示されます。

■ 電源を切る

[電源キー] を 3 秒以上押す

「SEE YOU ...」が表示され、電源が切れます。

キー操作の基本

■ 各種メニュー画面の基本操作

• メインメニュー

現在カーソルのあるアイコンがハイライト表示され項目名が画面下に表示されます。

カーソルキー ◻◻:カーソル移動

► センターキー ◻:実行

※本書ではメインメニューの項目を「電話帳」「ライトメール」等と表記します。

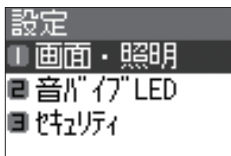
※◻:◻ または ◻ を押す

◻:◻ または ◻ を押す

• 基本メニュー

現在カーソルのあるメニュー項目がハイライト表示されます。

設定
1 画面・照明
2 音バイブLED
3 セキュリティ

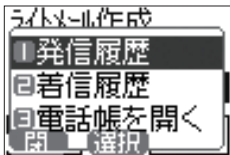
カーソルキー [上下]：項目選択

► センターキー [決定]：決定／実行

またはメニュー項目に番号が表示されている場合は

ダイヤルキー 0～9	：メニュー項目選択＋決定／実行
左ファンクションキー	：前の画面に戻る
右ファンクションキー	：サブメニューの表示
オンフックキー	：待受画面に戻る

※本書では、上の図のようなメニュー項目を 1「画面・照明」、2「音バイブ LED」等と表記します。

■ サブメニューの操作

サブメニューのあるメニュー表示中に ▭◎■ を押すとサブメニューが表示されます。

上下カーソルキー ◻:項目選択

► センターキー ◉:決定／実行
左ファンクションキー ■◎▭: 前の画面に戻る
オンフックキー ⌐ : 待受画面に戻る

■ ソフトキーの操作

操作ガイド表示エリアに表示されている機能を選択／実行する時はそれぞれに対応するキー を押します。

設定によりソフトキーの表示 ON/OFF 及び表示時間の変更が可能です。

※本書ではソフトキーを［MENU］［電話帳］等と表記します。

時計の設定

■ 日付と時刻の設定

待受画面

► ◙ [MENU]

► 6「設定」

► 4「時計設定」

► 1「日時設定」

► ◙:年／月／日／時／分を選択

► ◙:値を修正

► ◙ [確定]

■ 自動日時補正の設定

自動的にセンターと通信を行い日時の補正を行います。
（お買い上げ時設定:ON）

待受画面

► ◙［MENU］

► 6「設定」

► 4「時計設定」

► 2「自動日時補正」

► 1「ON」または 2「OFF」

メモ

自動日時補正は以下のタイミングで行われます。

- お買い上げ時
- 自動日時補正の設定を OFF から ON に変更してから最初に待受画面を表示した時
- 自動日時補正を行ってから約 30 日後

■ 表示モードの設定

時刻表示の 12 時間/24 時間表示を設定します。
(お買い上げ時設定:24 時間表示)

待受画面

► ▣ [MENU]

► 6「設定」

► 4「時計設定」

► 3「表示モード」

► 1「24 時間表示」または 2「12 時間表示」

暗証番号の変更

本機の暗証番号を変更します。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の暗証番号を変更することをおすすめします。
（お買い上げ時設定：0000）

待受画面
- ► ▣［MENU］
- ► 6「設定」
- ► 3「セキュリティ」
- ► 2「暗証番号変更」
- ► 現在の暗証番号を入力
- ► 新しい暗証番号を入力
- ► 再度、新しい暗証番号を入力

メモ

- 暗証番号は必ずお手元にお控えください。
- この暗証番号は、ご契約の際にお申込書にご記入いただいた暗証番号とは異なります。

ご注意

万一暗証番号をお忘れになった場合は、有償修理となります。修理に関してはウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。

電話をかける

■ 電話番号を入力してかける

待受画面

► 電話番号を入力

► [発信]

► （通話が終わったら）[終話]

► 待受画面

メモ

- 待受画面で電話番号を入力するか [発信] を押すと番号入力画面が表示されます。
- [発信] を押してから電話番号を入力した場合、最後の入力から一定時間経過すると自動的に発信します。
- 固定電話へ掛ける時は市外局番から入力してください。
- PHS／携帯電話へ掛ける場合には 0 から始まる 11 桁の電話番号を入力してください。
- [クリア] を押すと直前の番号を消去します。

■ 通知／非通知を指定してかける

電話番号を相手に通知しない場合

待受画面

► 1 8 4 + 電話番号を入力

► [発信]

電話番号を相手に通知する場合

待受画面

► 1 8 6 + 電話番号を入力

► [発信]

電話番号を先に入力した場合、または電話帳や発着信履歴から電話番号を選んで発信する場合

番号入力画面

► [メニュー]

► 1「184 設定」または 2「186 設定」

► [発信]

メモ

- 入力した電話番号の先頭に 184 または 186 を付加します。
- 30 桁以上の番号が入力されている場合は付加しません。
- すでに 184 が付加されている場合に 1 [184 設定] を選ぶと番号の先頭から 184 を削除し、2 [186 設定] を選んだ場合は 184 を 186 に置き換えます。（186 の場合も同様）

電話を受ける

着信画面

着信画面

► [通話キー]

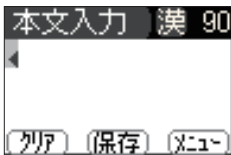
► (通話が終わったら) [終話キー]

► 待受画面

- エニーキーアンサーを有効にしている場合には 0 ～ 9 * # ■ でも電話を受けることができます。

文字を入力する

文字入力画面での操作方法は、電話帳編集やライトメール作成などの各機能で共通です。

■ 文字入力画面とキー操作

ライトメール本文入力画面の例

文字入力画面では以下のキー操作が可能になります。

キー	機　能
	文字入力モードの切替
	1文字消去
	サブメニュー表示
	入力位置の移動
	文字入力の終了
	文字入力の中止

ひらがな入力中は以下のキーの機能が変わります。

キー	機　能
	(なし)
	変換次候補表示
	変換前候補表示
	文節切替
	変換の確定

■ 文字入力モード

を押すと文字入力モードが切り替わり、文字入力画面右上に現在選択されている入力モードがアイコン表示されます。

アイコン	入力モード
漢	漢字･ひらがなモード
カ	全角カタカナモード
ｶﾅ	半角カタカナモード
Ａ	全角英数字モード
Aa	半角英数字モード
１	全角数字モード
12	半角数字モード
記	全角記号モード
?&	半角記号モード
絵	絵文字入力モード

メモ

- 入力する内容によって一部選択できないモードもあります。

■ 文字の入力

文字入力モードを選択し、ダイヤルキーを繰り返し押して文字を入力します。

メモ

- 同じキーの文字を続けて入力するには、[□] を押してカーソルを右に移動させます。
- 文字確定前に [#] を押すと、割り当てられた文字が逆順に表示されます。

■ 漢字変換

漢字･ひらがなモードでひらがなを入力後、漢字に変換することができます。

► 🔲:変換次候補

► 🔲:確定

メモ

- ▢ を繰り返し押すと順次変換候補が表示されます。
- 変換中に ▢ を押すと変換の文節位置が変わります。
- ▢ を繰り返し押して変換候補の表示が一巡すると、自動的に文節を 1 文字減らして変換を継続します。

■ 文字の消去／修正

入力した文字を消去するには、▢ ▢ で消去する文字にカーソルを移動し、▢ を押します。
カーソル移動後に文字を入力すると、カーソルの前に文字を挿入します。

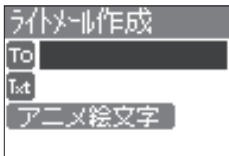
ライトメールの作成／送信

■ メールを作成して送信

ライトメールには以下の入力項目があります。

項　目	内　容
To (宛先)	宛先を入力します。
Txt (本文)	本文を入力します。
アニメ絵文字	アニメーション絵文字を添付できます。

待受画面

► [■] [MENU]

► 2「ライトメール」

► 3「ライトメール作成」

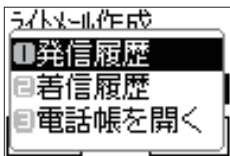
ライトメール作成画面

► [□]:入力項目を選択

宛先を入力

ライトメール作成画面

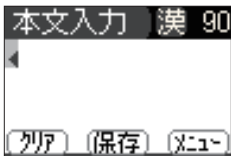
► 宛先を選択

► ▣

1「発信履歴」　：発信履歴から選択
2「着信履歴」　：着信履歴から選択
3「電話帳を開く」：電話帳から選択
4「直接入力」　：電話番号を直接入力

本文を入力

ライトメール作成画面

► 本文を選択

► ▣

► ▣:入力した本文を保存

アニメーション絵文字を添付

ライトメール作成画面

► [アニメ絵文字]を選択

► ▣

► ◫◫:アニメーション絵文字を選択

► ▣

ご注意

- アニメーション絵文字が入力されている状態で[アニメ]を選択すると、入力された絵文字が消去されます。

送信

ライトメール作成画面

► [送信]を選択

► ◙

メモ

- 宛先を入力しないと[送信]は選択できません

■ メールの保存

作成中のメールを下書きとして送信 BOX に保存します。

ライトメール作成画面

► ◙

► 1「下書き保存」

ライトメールの受信／返信／転送

■ 受信したメールの表示

新たに受信したライトメールがあると、待受画面のアイコン表示エリアに新着ライトメール受信アイコン が表示されます。この時に ◙ を押すと受信 BOX 内のライトメール一覧画面が表示され、アイコン は消えます。

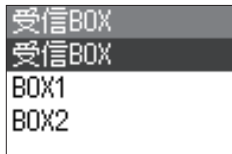
■ 受信 BOX に保存されたメールの表示

待受画面

► ◙ [MENU]

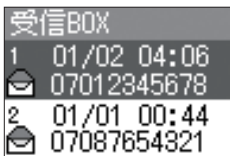
► 2「ライトメール」

► 1「受信 BOX」

受信BOX
受信BOX
BOX1
BOX2

► ◘:「受信 BOX」または「ユーザ受信 BOX1～5」を選択

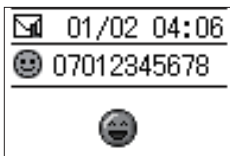
► ◙

受信BOX

2 01/01 00:44
07087654321

受信ライトメール一覧画面

► :表示するメールを選択

►

01/02 04:06
07012345678

受信ライトメール詳細表示画面

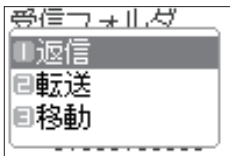
- ：ライトメール本文をスクロール
- ：前／次のライトメールを表示
- ：受信ライトメール一覧に戻る

■ 受信したメールに返信

受信ライトメール一覧

► ▣:メールを選択

► （ ◉:受信ライトメール詳細表示画面）

► ▭◎▬

► 1「返信」

► ライトメール作成画面

メモ

- 宛先に受信したメールの送信元電話番号がセットされます。

■ 受信したメールを転送

受信ライトメール一覧

► [□]:メールを選択

► （[■]:受信ライトメール詳細表示画面）

► [□]

► 2「転送」

► ライトメール作成画面

メモ

- 本文に受信したメールの本文がセットされます。

故障かな？と思ったとき

症状	対処方法
電源が入らない	[終話キー] を 3 秒以上押してください
	バッテリーを充電してください (p. 29)
電話がかけられない	電波受信レベルピクトに [圏外] が表示されているときは、電波受信レベルが強くなる場所へ移動してください (p. 25)
	電話番号を正しく（市外局番から）入力してください(p. 39)
	電話番号の後に [通話キー] を押してください
	キーロックが設定されている場合は、キーロックスイッチを下側にスライドさせてキーロックを解除してください (p. 23)
	リモートロックがかかっている場合は、他の電話から解除を行ってください
着信音が鳴らない	着信音量を上げてください
	留守録機能の応答時間を 1 秒以上に設定してください
	マナーモードに設定されている場合は解除してください
	安全運転モードに設定されている場合は解除してください

症状	対処方法
電話が着信できない	電波受信レベルピクトに 圏外 が表示されているときは、電波受信レベルが強くなる場所へ移動してください (p. 25)
	「着信拒否」が設定されていないか確認してください
	電源が入っていることを確認してください
相手の声が聞こえない	受話音量を上げて下さい
	電波受信レベルが強くなる場所へ移動してください (p. 25)
自分の声が伝わらない	相手の機器の受話音量を上げてもらってください
	電波受信レベルが強くなる場所へ移動してください (p. 25)
キー操作ができない	キーロックを解除してください (p. 23)

症状	対処方法
充電できない	AC アダプタをきちんとコンセントに差し込んでください (p. 29)
	AC アダプタのコネクタ端子をきちんと本機の USB 端子に差し込んでください (p. 29)
	本機の USB 端子部が汚れていないか確認してください
	PC と接続して充電している場合は、USB ポートの電流出力を確認してください
バッテリーを利用できる時間が短い	圏外や電波の届きにくい場所でのご利用や、メールのご利用が多い場合はバッテリーの消耗が早くなります
	ディスプレイの明るさを下げてください
	液晶画面点灯時間を短く設定してください
赤外線通信ができない	赤外線ポートどうしが 20cm 以内でまっすぐ向き合うようにしてください
	正しく送信状態または受信状態になっていることを確認してください
	赤外線ポートが汚れていたり、障害物などがある場合、また直射日光が強く当たる場所や蛍光灯、赤外線装置の近くでは正しく通信できない場合があります

お問い合わせ窓口

■ 下記のような内容はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容　(加入･変更･引越等)
- 月額基本料金･通話料等
- オプションサービス･修理のご相談
- サービスエリア
- 電話機の紛失
- その他、通信サービス

受付時間：**9:00～20:00**　(年中無休)
一般加入電話、携帯電話などから　：**0120-921-156**(無料)
ウィルコムの電話機から　　　　　：**116**(無料)

※お申し込み、各種お手続きは、一部を除き自動音声対応にて２４時間受け付けております。番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

お電話でのお問い合わせ･お手続きにはウィルコム電話番号とご契約時にお決め頂いた暗証番号(４桁)が必要です。あらかじめご準備のうえ、お問い合わせ･お手続きをお願い致します。

■ 店舗でのご相談、お手続き

最寄のウィルコムプラザおよびウィルコムカウンターは下記ウィルコムホームページのショップ検索で検索することができます。事前に各店舗のお取り扱い業務とお持ちいただくものをご確認ください。

URL : http://www.willcom-inc.com/go/shop/

■ 修理を依頼される時

- 保証期間中の修理の場合

ウィルコムサービスセンターまたはエイビットサポートセンターにお問い合わせください。保証書の保証規定により、無料で修理いたします。

- 保証期間を過ぎている場合

修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

- 修理の際、連絡していただくこと

❶ 製品名、お買い上げ年月日

❷ 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）

❸ お客様のご氏名、ご住所、電話番号

■ エイビット製品に関するご相談、お問い合わせ

- 製品についてのご相談や取扱方法は、お買い求めの購入店、または下記のエイビットサポートセンターにお問い合わせください。

URL：http://www.abit.co.jp/support/PHS/contact/index.html

■ 補修用性能部品の最低保有期限

本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、7年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

商標関連について

- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のモバイルWｎｎを使用しています。
  Mobile Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2003 All Rights Reserved.
- 本製品はリコーのフォント「New ゴシック M」を使用しています。
  「New ゴシック M」の制作・著作は株式会社リコーです。

索引

あ

か

さ

た

は

付録

ま

ら

英数字

本保証書は、保証書記載内容に基づき、無償修理をお約束するものです。
万一保障期間内に故障した場合は、ウィルコムサービスセンターへご相談ください。

品名	ストラップフォン　(WX03A)
★お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ日より1年間
★お客様	お名前 ご住所 電話番号(　　　　)　　　－
★販売店	店名 住所 電話番号

★印の付いた欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

<保証規定>

❶ 取扱説明書・本体ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証期間内に限り無償修理いたします。

❷ 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。

- 使用上の誤り・不当な修理や改造による故障や損傷。
- 使用上、取扱上の過失(落下、水没)または事故による故障や損傷。
- 不当な修理や改造による故障や損傷。
- 落下、ぶつけてしまったことによる故障や損傷。
- 車両、船舶への搭載などに使用された場合の故障や損傷。
- 本保証書のご提示がない場合。
- 雨や水、または液状(ジュース、コーヒー、油等)のものに濡らしてしまったり、水やお湯の中に落としてしまったことによる故障や損傷。または水濡れや湿気等の痕跡がある場合。
- 本保証書にお買い上げ日(年月日)・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

❸ 機器の損害状況によっては修理できない場合もあります。

❹ 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

❺ 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせにより誤動作などから生じた損害や事故については責任を負いかねます。

❻ 本商品の故障に起因する付随的損害については、一切補償いたしません。

❼ 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

■ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとで無償修理をお約束するものです。
したがって、本書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

製造元:株式会社　エイビット
〒 192-0072 東京都八王子市南町 3-10
ホームページ URL:http://www.abit.co.jp/

AJ060-03-02

WX03A　ストラップフォン

正誤表

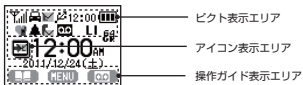
このたびは、エイビット製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品に同梱されております。『クイックスタートガイド』の記載に訂正がございます。

下記のとおり、訂正してお詫び申しあげます。

訂正

・P24　ディスプレイ表示エリア

正しくは下の画面表示になります。

・P24　ピクト表示

正しくは下の画面表示になります。

・P33　「サブメニューの操作」

オンフックキー：

(誤) 待受画面に戻る

(正) 前の画面または待受画面に戻る

(サブメニューによって異なります)

・P41　「通知／非通知を指定してかける」

(誤) 電話番号を先に入力した場合、または電話帳や発着信履歴から電話番号を選んで発信する場合

(正) 電話番号を先に入力した場合や発着信履歴から電話番号を選んで発信する場合

WX03A　ストラップフォン

・P42 「電話を受ける」

エニーキーアンサーを有効にしている場合には、

(誤) [0]~[9] [#] [*] [■]　でも電話を受けることができます。

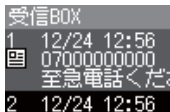
(正) [0]~[9] [#] [*]　でも電話を受けることができます。

・P51 「アニメーション絵文字を添付」

(誤) アニメーション絵文字が入力されている状態で [アニメ] を選択すると

(正) アニメーション絵文字が入力されている状態で [アニメ絵文字] を選択すると

・P54 受信ライトメール一覧画面

正しくは下の画面表示になります。

・P60 「お問い合わせ窓口」

(誤) 受付時間：9:00 ～ 20:00 (年中無休)

(正) オペレータ対応時間：9:00 ～ 20:00 (年中無休)

WX03A　ストラップフォン

補足事項

・P36 「自動日時補正の設定」
設定リセットまたは端末初期化を行った場合にも自動日時補正が行われます。

・P30 「電源を入れる／切る」
電源を入れる際は「ABIT ロゴ」が表示された時点で、電源を切る際は「SEE YOU...」が表示された時点で ［終話キー］ を離してください。
どちらの場合もそのまま ［終話キー］ を押し続けていると、再起動される場合があります。
再起動後は時計が「2012 年 1 月 1 日 0 時 0 分」になりますので自動日時補正を OFF にしている場合は時計の設定を行って下さい。

・P58 「キー操作ができない」場合の対処方法
キーロックを解除してもキー操作ができない場合は、［終話キー］ を 10 秒以上押し続けて再起動してください。
再起動後は時計が「2012 年 1 月 1 日 0 時 0 分」になりますので自動日時補正を OFF にしている場合は時計の設定を行って下さい。

WX03A　ストラップフォン

本製品の技術基準適合表示について

・本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技術基準適合マークを画面に表示することができます。表示の操作方法は、次の通りです。

待受画面
- ► [■]【MENU】
- ► [6]「設定」
- ► [9]「認証情報表示」
- ► [1]「技術基準適合」

・本製品は技適マークや認証・認定番号を電磁的方法で表示する製品であるため、本製品が破損・故障などで技適マークや認証・認定番号が表示できなくなった場合は、速やかに修理を依頼するなどして技適マーク及び認証・認定番号が表示できるようにしてください。